

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道260号 <small>にしきとうげ</small> 錦 峠	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：三重県度会郡南伊勢町棚橋 至：三重県度会郡大紀町高岡	延長	6.7 km		
事業概要					
<p>一般国道260号は、三重県志摩市を起点とし、度会郡南伊勢町、度会郡大紀町を経て、北牟婁郡紀北町に至る延長約100kmの沿岸部の幹線道路です。</p> <p>本事業の錦峠は、三重県度会郡南伊勢町棚橋から度会郡大紀町高岡に至る延長6.7kmのバイパスであり、地域連携の支援、物流効率化の支援や災害に強い道路機能の確保を主な目的として事業を推進しています。</p>					
S59年度事業化	—	S61年度用地着手	S63年度工事着手		
全体事業費	235億円	事業進捗率	86%	供用済延長	4.9km
計画交通量	2,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C ： <small>(事業全体)</small> 1.1 <small>(残事業)</small> 2.5	総費用 ： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 36/352億円 事業費：28/322億円 維持管理費：8/30億円	総便益 ： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 88/400億円 走行時間短縮便益：76/336億円 走行経費減少便益：11/61億円 交通事故減少便益：0.80/3.7億円	基準年 ： 平成23年	
感度分析の結果					
<small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=0.9～1.5(交通量±10%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=2.0～2.9(交通量±10%) <small>(事業全体)</small> 事業費：B/C=1.04～1.3(事業費±10%) <small>(残事業)</small> 事業費：B/C=2.3～2.7(事業費±10%) <small>(事業全体)</small> 事業期間：B/C=0.9～1.2(事業期間±20%) <small>(残事業)</small> 事業期間：B/C=2.4～2.5(事業期間±20%)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。 ②物流効率化の支援 ・農林水産品(鮮魚等)の流通の利便性向上が見込まれる。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 ④安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設(山田赤十字病院)へのアクセス性向上が見込まれる。 ⑤災害への備え ・道路寸断で孤立化する集落(錦地区等)を解消する。 ・緊急輸送路として位置づけられている。					
関係する地方公共団体等の意見					
知事の意見 ： 本事業は、雨量規制時のリダンダンシー確保など災害に強い道路機能の確保、地域連携や物流効率化の支援を図るための重要なバイパス事業です。 今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、平成26年度供用に向けた確実な事業の推進をお願いいたします。					
事業評価監視委員会の意見					
「事業継続」することは「妥当」である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・紀勢自動車道：大宮大台IC～紀勢大内山IC間供用(平成21年2月)					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・事業進捗率は86%、用地取得率は100%(平成22年度末) ・南伊勢町～大紀町区間(L=4.9km)は、完成供用済み。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・南伊勢町内区間(L=1.8km)は、平成26年度の完成2車線供用を予定。					

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

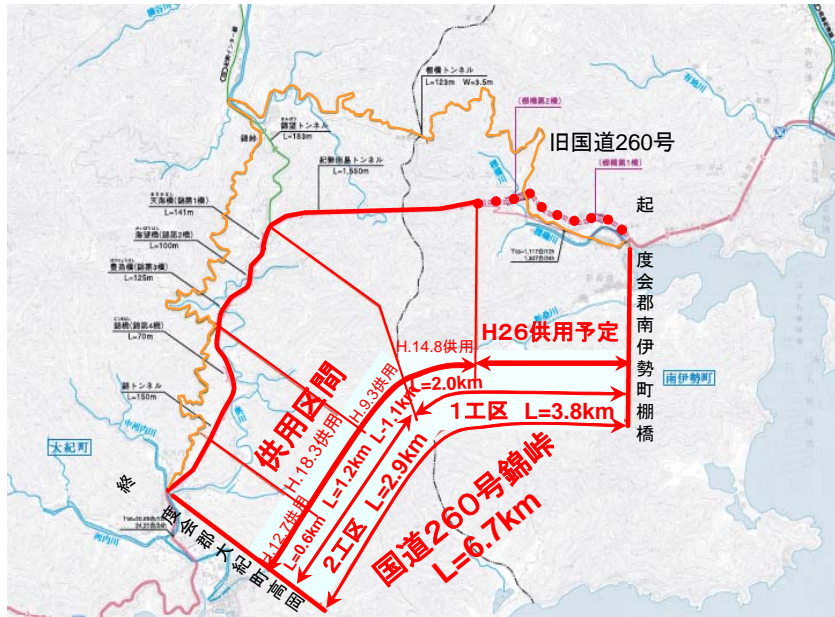
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

